

所沢市立教育センター「所報」

けやきだい

教師一人一人が力をつけ、学校力を高め、子どもの生き抜く力を育む

所沢市の教育の理念

みんなが持っている三つの“宝”を振り起こして大きく育てます

心身のたくましさ

未来を拓く知恵

ふるさと所沢を愛する心

【夏休み】ミライシード活用

ミライシードを夏季休業中の課題として有効活用！

まもなく1学期が終了します。児童生徒が1学期の間に学習したことを振り返り、2学期もよいスタートが切れるように、本市で導入している「ミライシード～ドリルパーク～」を活用していきましょう。

「既習事項の学び直し」編

国語・算数を中心に**教科書の単元ごと**に問題が掲載されます。解答は自動で正誤判定され、即時にフィードバックされるので家庭学習でも効果的に使うことができます。

また、**間違えた問題をピックアップして**取り組むことができるので、1学期のつまずきを取り残さずに2学期がスタートできます。

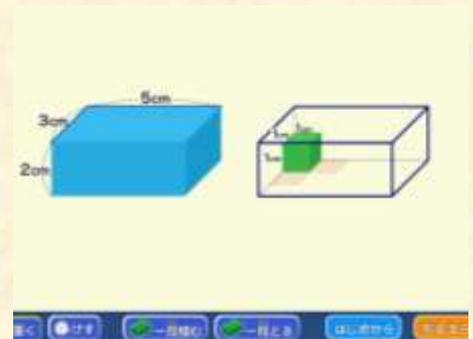


教科書単元ごとの問題

「任意の問題を配信」編

学級の実態に応じて**教師が選んだ問題や自作の問題**を配信することができます。解答形式も「選択」・「並べ替え」・「分類」など、問題に応じて変更することができます。

また、ミライシードの機能である「学習探検ナビ」も活用すると、**デジタル教材**を使って、理解を深めることができます。



問題解決で使えるデジタル教材

「取組み状況を確認」編

「誰がどんな問題につまずいているのか」が一目で確認することができます。**学年や学級の全体的な理解度**を把握できるので、2学期の指導の方向性を立てることができます。

また、**漢字の正誤判定の難易度や文字の色、大きさ**を変更することができます。児童生徒の実態に応じて、使いやすく、取り組みやすくカスタマイズをして活用していきましょう。



習熟度に応じて、学年の枠を超えた問題に取り組むことも可能

ミライシードを活用して
一人一人に応じた
学びの充実を目指しましょう！



学期末の支援

1学期も残りわずかとなりました。学級の子どもの様子はいかがでしょう。浮かぬ表情、孤立げみなど、気にかかる子どもはいませんか。欠席している子どもに対して、迅速かつ温かい対応を行うことが大切です。

欠席1日目からの対応は登校支援の第1歩

本人の状況	学校
<div data-bbox="205 499 437 535" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 普段の学校生活 </div> <div data-bbox="213 586 474 618" style="text-align: center;"> ～ 心や体の変化 ～ </div> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 表情が暗い <input type="checkbox"/> 体調不良を訴える <input type="checkbox"/> 遅刻、早退が多い <input type="checkbox"/> 一人でいることが多い <input type="checkbox"/> 理由なく担任のそばに いることが多い <input type="checkbox"/> 提出物が出なくなる <input type="checkbox"/> 学習意欲の低下 <input type="checkbox"/> 保健室に行くことが多い <input type="checkbox"/> 教室以外で過ごすことが 多い 	<div data-bbox="608 499 839 535" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 留意事項 </div> <div data-bbox="544 546 1450 584" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> ☆「不登校の予防・復帰は、授業・学級（学年）経営から」☆ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の魅力（心の居場所）を増やし絆づくりとしての学校 ・いじめや暴力行為を許さない学級・学校の雰囲気づくり ・学業不振を原因とする不登校の防止（わかる授業・楽しい授業） ・心の教育の充実（道徳、体験活動、学校行事等） ・本人や保護者の思いに耳を傾ける。 ・「子育てのプロはいません」保護者の困り感に寄り添う。 ・不登校になる背景は様々。一つの方法論に偏らず、アセスメントをしっかりと行い、適切に対応する。 <div data-bbox="592 999 951 1034" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 児童生徒理解・予防対応 </div> <div data-bbox="544 1048 1331 1084" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> ☆「観察」「声掛け」「情報交換」「面談」等による予防 ☆ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・表情の変化、生活面・行動面の変化、遅刻、早退、欠席等に敏感に ・小さな変化に気づいたときは教職員間で情報を交換・共有し予兆の早期発見に努める。

心のエネルギープロジェクト

6・7月「心のエネルギープロジェクト強化期間」に合わせ、今年度も教育長メッセージを出しました。教育センターホームページに掲載する形で、市内小・中学生の保護者にもお知らせしています。

児童生徒の自己肯定感の一層の醸成を図るため、学校全体でかけがえのない命について考えていく機会となるよう、映像資料の活用やストレスマネジメントの授業等、引き続き各学校で工夫された取組をお願いします。







適正な範囲での著作権の活用（著作権シリーズ⑤）

令和4年11月24日発行所報で、「著作権」が学習指導要領において、どのように扱われているか、音楽の教科を取り上げ、その内容と取り扱いについて紹介をしました。小学校では音楽、中学校では音楽、美術、技術家庭の教科で著作権に関わる記載があります。今回は、もう少し具体的な場面を取り上げてみたいと思います。

最初に確認です。著作権法では、第1条で「著作者等の権利の保護を図り、もって文化の発展に寄与する」ことを目的としています。さらに第35条1項では、学校の授業は例外である旨が記載されています。

「学校(中略)において教育を担当する者及び授業を受ける者は、その授業の過程における使用に供することを目的とする場合には、必要と認められる限度において、公表された著作物を複製することができる。(後略)」

つまり、「学校の授業においては、無許諾かつ無償で著作物を使用できる」ということです。ただし、あくまで**「著作権の例外規定は『授業』と学習指導要領に基づく授業と教育活動」**である点が要注意です。学校の授業でできていても、それ以外の場ではできないおそれがあります。「著作権者の利益を不当に害することとなる場合」には自由な複製ができませんので、先生方は、どの校務にまで例外が認められるのか、正しく把握しておく必要があります。

【著作権者の了解なしに利用できるもの(◎)、できないもの(×)の例】 (NO.363 再掲)

◎教員が授業で使用するために、児童生徒に対して小説の一部などをコピーして配布する

◎小説や社説などを用いた試験問題を出題する

×教員が、ソフトウェアなどを児童生徒が使用する複数のパソコンにコピーする

×修学旅行の資料に参考資料として、市販のいくつかの旅行ガイドブックから記事を集めて掲載する

参考文献：文化庁著作権課作成「令和3年度改訂 学校における教育活動と著作権」



また、冒頭に示した教科の授業において、教科書の単元等に沿って「著作権」を学習するだけではなく、日々の授業の中で、配布する複製資料をきっかけに著作権を意識させるような工夫も必要です。

例えば、音楽の授業で、合唱コンクールで扱う楽曲の楽譜を配る際に、『学校の授業なので、楽譜をコピーして配ることができますが、みんながプライベートで使う時は、それぞれ買わなければなりませんよ。』と加えるだけで、児童生徒が著作権を意識する機会になります。

さらに、児童生徒が作成した作品等も、著作物である以上、芸術性の高低、受賞の有無には関係なく、当然、それを作成した児童生徒に著作権が認められます。授業の過程で教員の指導があったとしても、作品の利用については著作権法の規定が適用されます。

委嘱状交付式 研究員活動の様子

授業実践研究部・専門研究部 活動開始！



研究員委嘱状交付式

研究員の活動が5月より開始しました。
現在、各研究部において計画・実践に向けて取り組みが進んで
おります。今後、多くの学校で研究授業が行われます。

授業実践研究部(2年間) ※指導主事の指導のもと、研究主題に向けて研究を進めております。

研究主題 ～主体的・対話的で深い学びを実現するために活用するICT～

令和5年度開設(1年目)

○算数・数学科 ○社会科 ○図画工作・美術科

令和4年度開設(2年目)

○国語科 ○理科 ○外国語活動・外国語科

○特別活動



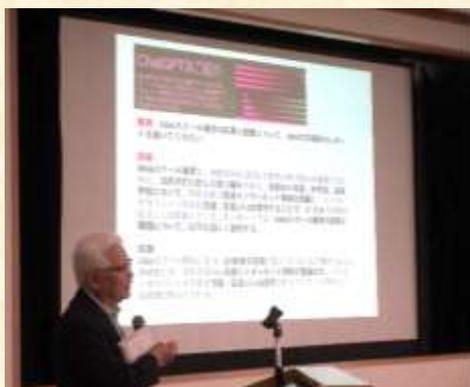
指導主事との打合せ 風景

専門研究部(1年間) ※研究部ごとに研究主題を設定し、大学教授の指導のもと、研究を進めます。

○国語科 ○算数・数学科 ○外国語活動・外国語科 ○道徳科

○特別活動 ○教育相談

研究員合同研修会 東京工業大学 名誉教授 赤堀侃司 様



演題：「子どもを主体とした授業デザイン」

GIGAスクール構想における授業の変化、ChatGPTをはじめ、ICT活用に関わる今後の展開と課題について、授業デザインという視点で御講義をいただきました。

参加者からの感想より、ポイント

○子どもの実態把握→「問い」から入る授業
→子どもの思考を待ち、能動性を高める



今後、研究紀要の作成や研究発表会が予定されております。
昨年度までの研究紀要は、所沢市立教育センターHPに掲載されておりますので、御参照ください。